

## 開幕控える上海万博

いよいよ5月1日から、中国の上海で万国博覧会（万博）が開催されます。目標来場者数は7,000万人とされ、1970年に開催された大阪万博（6,422万人）を上回る、史上最大規模の万博開催を目指しています。開催期間が半年（10月末まで）と長く、その経済効果は2008年北京オリンピック（開催期間：17日間）より大きいとも言われています。

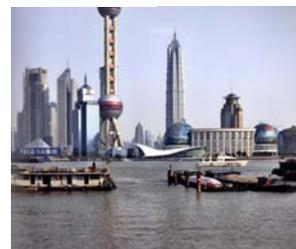
万博開催に向けて、万博会場などの建設のみならず、上海市内の地下鉄網整備や国際空港の拡張、大規模高速鉄道ネットワークの構築など多額のインフラ「投資」が実施され、都市機能の高度化が一気に進みました。開催後には、ホテルや大型ショッピングセンターなどにおいて7,000万人もの来場者による莫大な「消費」が期待されます。万博の開催は「投資」「消費」の両面から、大きな経済効果が期待できるのです。

ところで、左下の写真はどこだと思われますか？ 1987年当時の風景です。



(写真の出所) Xu Xixian, Xu Jianrong; "A Changing Shanghai"; Shanghai People's Fine Arts Publishing House, 2006.

ヒント



最近の街並みです

正解は「上海」です。観光名所にもなっている東方明珠塔（ドンファンミンシューターと読みます）などがある上海の浦東（プードン）地区は1987年当時、高い建物がなかったことが分かります。わずか20年余の間で世界最先端の都市の一つにまで発展を遂げた上海は、万博開催という歴史の節目を迎えるのです。

中国元の為替レートをウェブサイト「グローバルマップ」でチェック [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)